

# 接続語 レベル2

月 日  
名 前

1 次の文章の空欄(1)～(5)にあてはまる言葉をそれぞれ次のア～オから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

かつて、私が子どもの頃は、いたずらをしたり、行儀が悪かったりすると、よく見知らぬ大人に叱られたものだった。(1) **オ**、最近では、街中で行儀の悪い子どもを叱る大人を見かけなくなった。だが、大人が子どもを叱るのは、ひとつの社会的役割ではないだろうか。子どもを叱れない大人は社会人として恥ずかしいと私は思う。では(2) **イ**、大人は子どもをしからなくなってしまったのだろうか。(3) **ア**、いらないおせっかいをして、もめ事になることを恐れる気持ちもわかる。だが、本当の理由は(4) **エ**「叱り方がわからない」ということにあるのかもしれない。(5) **ウ**見知らぬ人に叱られたことのない子どもが、大人になってしまった時代である。このような時代だからこそ、毒舌のタレントが人気を集めていることにも納得である。みんな本当は厳しく叱りたいのかもしれない。

ア 確かに イ なぜ ウ もはや エ 案外 オ しかしながら  
 (1) **オ** (逆の内容) (2) **イ** (疑問の投げかけ) (3) **ア** (よくある意見をいったん認める)  
 (4) **エ** (思いがけなかったことに気づく) (5) **ウ** (今はもうすでに)  
 2 次の文章の空欄(6)～(10)にあてはまる言葉をそれぞれ次のカ～ケから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

人間には生まれつき、他に張り合って勝ちたいと思う気持ち、(6) **コ** 競争心がそなわっています。(7) **キ**、これを無理に押さえ込もうとするような施策はうまくいくはずがありません。(8) **ク**、この人間の本性をうまく利用することで、共同体を安定的に成長させていくことが可能になります。(9) **ケ**、学校においてもテストやスポーツ大会などをうまく機能させることで、子どもたちの能力は大きいに向いしていきます。ただし、過度に競争心をおおるような施策は不要です。(10) **カ**、それはそれで人間の本性をゆがめてしまうからです。

カ なぜなら キ だから ク でも ケ たとえば コ いわば  
 (6) **コ** (言い換える) (7) **キ** (原因から結果) (8) **ク** (これまでと違う流れに)  
 (9) **ケ** (例をあげる) (10) **カ** (理由の説明)

